

8 : ③と④と⑧のツマミで②のSWRメーターの振れが最小になるようにします。
 9 : 送信パワーを少しづつ増やしながら、7、8の操作を繰り返します。
 10 : ⑦のボリュームを引出し(PULL/CAL)、②のメーターをフルスケール(CAL点)にセットします。

11 : ⑦を押し込むと(PUSH/SWR)SWR表示です。1.5以下になっていればOKです。(スケール色がミドリ色)

以上でチューナーによる調整は終了です。運用するバンドを変えた場合や、同じバンド内でも周波数を移動してSWRが高くなった時などは、上記の操作でチューニングをとりなおしてください。

⑥のチューナースイッチを THRU 側にすると、本機はチューナーを切り離し、SWRメーター部のみが動作します。アンテナの実際のSWRを測定したい場合にはそのようにして御使用ください。

他バンドのアンテナを流用したいというとき等に、チューナーで調整してもSWRが1.5以下に下げられない場合が生じることがあります。そのような時には、5-8の調整をもう一度最初からやりなおすとうまく調整できることがあります。ただしアンテナの実際のSWRがあまりに悪いものはチューニング出来たとしても電波は飛ばない場合が多いので注意して下さい。

【使用上の注意事項】

本機を使用するときには次の事項に注意してください。

- ・最大定格入力(1kW)を超える送信電力は絶対に加えないでください。
- ・チューナーで調整するときには、はじめは小さいパワーで調整をとりながら徐々にパワーを上げて行くようにしてください。十分に調整できていないままに大きな電力を加えると、SWRメーターやチューナー部を焼損する危険性があります。
- ・送信状態のままにチューナーやアンテナなどの各スイッチを切り替えないでください。
- ・高感度なメーターを使用していますので、強い衝撃などを与えないようにしてください。
- ・上蓋横、背面パネルにある通風口をふさがないでください。

【各バンドにおける調整点の目盛位置】 入出力負荷50Ω時の目安です。

	TX.VC	BL.VC	ANT.VC
21MHz	4.5	4.5	4.5
24MHz	7	5	5
28MHz	7	7	7
50MHz	9	8	9

■本機はアマチュア無線技士等の無線従事者が、その資格により責任を持って使用する機器です。また改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

KURANISHI INSTRUMENTS CO, LTD.

1-10-24 NAKAMEGURO MEGURO-KU, TOKYO 153 TOKYO (03)3793-3311

取扱説明書

アンテナチューナー

NT-302
21MHz~50MHz BAND

保証書

型 名 Model. NT-302
 販売年月日 年 月 日
 お 名 前
 ご 住 所
 〒 番

販売店名印

※販売年月日・販売店印なき物は無効 //



株式会社 クラニシ
 本社 東京都目黒区中目黒 1-10-24 共栄ビル 電話 03 (3793) 3311 153